

総合図書館今昔
よみがえる旧図書館

11.4(水)~12.8(火)

平日 9:00-20:00
土日祝 13:00-16:00

総合図書館展示ホール

このパンフレットは、平成21年11月4日(水)~12月8日(火)まで1F展示ホールにて開催した『総合図書館今昔-よみがえる旧図書館-』をもとに作成したものです。



旧総合図書館模型



新総合図書館模型



目録カード
図書の本誌事項を記録するためのカード。



蔵書印(浮出(うきだし)印)
朱肉が使えない資料に浮出印を押していた。



1本柱式締め機
自家製本を行う際に本を締めるのに使用した。

総合図書館今昔



平成22年2月

発行/福井大学総合図書館

〒910-8507 福井県福井市文京3丁目9番1号
TEL.0776-27-8966 FAX.0776-27-8787
URL <http://www.flib.u-fukui.ac.jp>

創造力、実践力。  国立大学法人
福井大学

はじめに



総合図書館は1966(昭和41)年3月に竣工して以来、

2度(1971(昭和46)年・1982(昭和57)年)の増築が行われました。

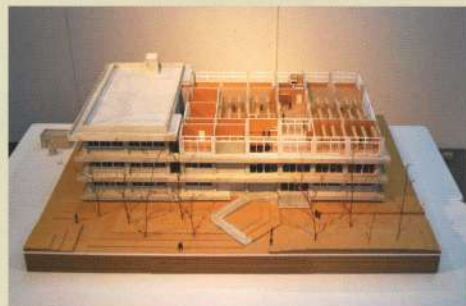
3度目となる今回は耐震改修と同時に機能回復を目的に増改築が行われ、

2009(平成21)年6月にリニューアルオープンしました。

これまでの図書館の歴史とともに、先人の学びの足跡をたどります。

■前身校の歴史

年 代	事 項
1943(昭和18)年4月	福井県福井師範学校・福井県鯖江女子師範学校が専門学校に昇格して、福井師範学校男子部・女子部となる
1944(昭和19)年4月	福井県立青年学校教員養成所が官立化し、福井青年師範学校となる 福井高等工業学校は専門学校令の改正により、福井工業専門学校に改称
1945(昭和20)年7月19日	福井空襲により福井工業専門学校の建物は焼失したが、図書館と講堂は難を逃れた 福井師範学校男子部は倉庫1棟を除くすべての建物を焼失
1947(昭和22)年1月31日	福井師範学校男子部は鯖江市神明町の旧鯖江連隊兵舎に移転
6月 2日	福井師範学校男子部図書館が旧将校集会所を使用して開館
1948(昭和23)年6月28日	福井大地震により福井工業専門学校の建物は、全半壊し被害甚大であったが、 図書館の建物ははからくも被害を免れ、書架倒壊等の被害を受けた
7月23日	福井工業専門学校の図書館は、豪雨により浸水(地上1.8m)



←本学院生(建築建設工学科)による
旧総合図書館の模型
特殊な製法により、重厚な造りの図書館が
よみがえりました。

■総合図書館の歴史

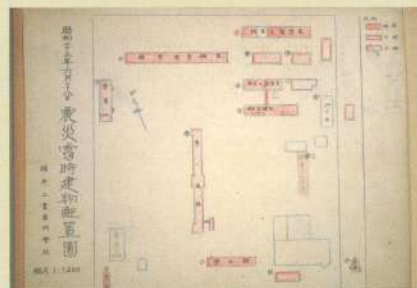
年 代	
1949(昭和24)年5月31日	国立学校設置法(法律第150号)が公布され、学芸学部、工学部の2学部からなる新制大学として発足
7月 1日	学芸学部分館(旧福井師範学校男子部図書館)、工学部分館(旧福井工業専門学校図書館)、 学芸学部分教場分館(旧福井師範学校女子部図書館及び旧福井青年師範学校図書館)の 3分館の形で発足
1951(昭和26)年4月 1日	工学部分館を本館、学芸学部の2分館を1分館に統合
1952(昭和27)年7月	工学部から書庫と講堂を借受け、事務室、閲覧室及び書庫を設置
10月 2日	学芸学部が工学部所在の福井市へ統合移転するに伴い、学芸学部分館を廃止
1953(昭和28)年3月25日	閲覧室(木造2階建 延470㎡ 座席定員108名)、渡り廊下が竣工 旧講堂を書庫および出納台に改装
9月26日	台風13号により日野川と九頭竜川の合流点付近の堤防決壊 26日朝より27日にかけて本学施設浸水(床上60~90cm、構内最深部180cm以上の水位) 図書約5,000冊が水浸しとなる
1966(昭和41)年3月18日	附属図書館(鉄筋コンクリート造3階建 延2,098㎡)竣工
1971(昭和46)年3月25日	附属図書館第Ⅰ期増築(鉄筋コンクリート造3階建 延1,010㎡増)竣工
1982(昭和57)年3月16日	附属図書館第Ⅱ期増築(鉄筋コンクリート造3階建 延1,142㎡増)竣工 同時にハンドル式集密書架及び図書紛失防止装置(ブックディテクションシステム)設置
1994(平成 6)年3月	正面玄関及び職員用玄関に身体障害者用スロープ整備
6月	身体障害者用エレベーター工事竣工
2003(平成15)年10月1日	旧・福井大学と旧・福井医科大学が統合し、附属図書館は、総合図書館(文京キャンパス)、 医学図書館(松岡キャンパス)の2館で構成
2004(平成16)年4月 1日	国立大学法人福井大学が発足し、福井大学を設置
2007(平成19)年10月4日	福井県立図書館との相互協力協定締結
2008(平成20)年6月-7月	総合図書館改修に伴い、書庫の図書・雑誌、郷土資料、特殊資料、貴重書を福井県立図書館 に移転
7月-8月	総合図書館改修に伴い、事務室、開架図書、大型本を仮図書館(応用物理工学科棟)に移転
9月 1日	応用物理工学科棟において臨時図書館を開館
2009(平成21)年3月16日	総合図書館耐震改修及び第Ⅲ期増築 (鉄筋コンクリート造3階建 延1,348㎡増 総面積4,999㎡)竣工
3月-5月	仮移転していた福井県立図書館、臨時図書館の資料及び事務室を総合図書館に移転
3月27日	福井県地域共同リポジトリ協定締結
6月 1日	総合図書館がリニューアルオープン

総合図書館の歴史

総合図書館は、戦前の福井師範学校、福井工業専門学校、福井青年師範学校を基に、新制大学としてスタートした福井大学の附属図書館として産声を上げました。



福井県福井師範学校



1948(昭和23)年6月28日 福井地震 震災当時建物配置図(福井工業専門学校)



福井工業専門学校と思われる 図書閲覧室



福井地震で倒壊した建物(福井工業専門学校)



福井地震で倒壊した書庫



書庫と講堂を工学部から借り受け、図書館として使用していた。



講堂内閲覧室



蔵書冊数

15,000冊
1948

44,324冊

42,193冊

福井大学前身

1949 福井大学開学 3分館制

1951 本館+1分館制

福井師範学校男子部(福井市豊島中町)

福井師範学校女子部(今立郡舟津村)

福井青年師範学校(吉田郡円山西村新保)

福井工業専門学校(吉田郡西藤島村)

1945(昭和20)年7月19日 福井空襲
この空襲でいずれも蔵書の大半が失われ、1947(昭和22)年1月13日の『福井新聞』は、福井工業専門学校の惨状を「3万冊を数えた図書は今や1万冊にも満たず閲覧室はとても冷たい長椅子が3,4脚並んでいるばかり」と報じました。

学芸学部分館(今立郡神明町水落)

学芸学部分教場分館(今立郡鯖江町上鯖江)

工学部分館(福井市牧島町)

学芸学部分館(今立郡神明町)

本館(福井市牧島町)

※住所は当時の表記を使用



1953(昭和28)年頃
附属図書館沿革史草稿



1958(昭和33)年 福井大学全景
中央の円形噴水左下部の3棟が図書館



1966(昭和41)年 福井大学全景
中央の円形噴水下部の建物が図書館



1953(昭和28)年9月26日
台風13号による水害



1966(昭和41)年 附属図書館竣工



2F カウンター



閲覧室
目録カードケースが整然と並んでいる。

114,685冊

1952 附属図書館統合

附属図書館(福井市牧島町)

分館が本館に統合され、全蔵書の効率的な管理および運用が可能となりましたが、施設面では特別な措置はなされず、工学部分館時代の旧講堂および書庫をそのまま利用していました。

1966 福井大学附属図書館竣工(鉄筋コンクリート造3階建 延2,098㎡)

- 水害を考慮して地上1.22m床土
- 各階の南、東、西側の一部にベランダを設置
- 日焼け防止のため外回りの窓に遮光ガラスを設置
- 書庫のガラス窓には火事やその他の災害から資料を守るため網入りガラスを採用
- 書庫運搬用エレベータ、電気時計、拡声装置、蒸気式暖房の設置



1981(昭和56)年 福井大学全景
図書館建物の円形噴水側(現教育地域科学部側)
を増築



1975(昭和50)年 電子計算機導入
(富士通製FACOM230-15)



1971(昭和46)年 第I期増築



閲覧室



1F 新聞コーナー

161,220冊

1971 第I期増築 (鉄筋コンクリート造3階建 延1,010㎡増)

- 教育学部側にも出入口を設置
- 北側にもベランダを設置
- 熱水・冷水による全館冷暖房装置を設置

この増築により、書庫の収容能力は69,000冊分増加し、この時点での試算では昭和60年代までさらなる増築を必要としないと想定されていました。



1983(昭和58)年 福井大学全景
図書館建物の芦原街道側(現事務局側)を増築



1982(昭和57)年 第II期増築



総合図書館のシンボルツリー
「かりん」



ブックディテクションシステム
(図書紛失防止装置)

286,161冊



ハンドル式集密書架

1976 図書館周辺の緑化整備

これ以降、総合図書館は緑豊かな環境の中で現在に至っています。総合図書館のシンボルツリーである「かりん」もこの頃植樹されました。

1982 第II期増築
(鉄筋コンクリート造3階建 延1,142㎡増)

- ハンドル式集密書架設置
- 図書紛失防止装置設置
- 正面玄関及び職員用玄関に身体障害者用スロープ設置

445,752冊



解体工事が進み柱だけになった旧図書館



臨時総合図書館



書庫増築



ダンボール箱を廊下や床に並べ、書架の代わりとして利用していた。

蔵書冊数

478,537冊

戦災、震災、水害を乗り越え60年間に蔵書は30倍に



2009(平成21)年
福井県地域共同リポジトリ協定
締結=福井が生み出す知の拠点へ



2009(平成21)年 新総合図書館竣工



ラウンジ



展示ホール



閲覧室



マルチメディアコーナー



入口

2003 大学統合
新附属図書館誕生

総合図書館(文京キャンパス)
医学図書館(松岡キャンパス)
2館体制へ

2008 臨時総合図書館(旧工学部応用物理学科棟)

耐震改修工事のため、旧工学部応用物理学科棟に臨時
総合図書館を開設しました。

2009 新総合図書館竣工(鉄筋コンクリート造3階建 延1,348㎡増 総面積4,999㎡)

3つのコンセプト

- 集う図書館
- 次世代図書館
- 継承する図書館

飲食可能ラウンジ・展示ホール・窓際に閲覧席
個席のあるマルチメディアコーナー など